

# 特定非営利活動法人 ピープルズ・ホープ・ジャパン

## 2021 年度 事業計画

### 1. 概要

海外・災害支援事業は、2015年に国連が制定した『持続可能な開発目標（SDGs）』に基づき活動を継続します。PHJがこのような事業を継続するためには①資金、②人材、③事業の3要素が不可欠ですので、収益の安定化、人材の補充と育成、従来事業の着実な実施と新規事業の立案を柱とする中期計画（2020年～2023年）を策定します。

カンボジア支援事業はコンポンチャム州ストゥントレン保健行政区においてN連事業（日本NGO連携無償資金協力事業）「子どものケア支援ネットワーク強化事業（2018年10月～2022年9月）」を継続実施します。

ミャンマー支援事業はネピドー特別自治区内のタッコン郡におけるN連事業「農村地域の母子保健サービス改善事業（2017年10月～2020年10月）」を終了します。新事業地は同じネピドー特別自治区内のレウェイ郡とし、外務省2020年度N連事業として2020年中の事業開始を目標にしています。

災害支援事業は2019年から開始した「心療カウンセリング支援事業（2019年1月～2021年12月の3年事業）」を、2020年7月に締結した合意書に基づき継続します。

2019年に定款変更を実施したため、認証の規定により、2021年度予算は2019年の理事会・総会で2年予算として決定されています。しかし、1年前と大きく状況が変わりましたので、改めて2021年度事業計画・予算を審議・決定していただきます。

新しい2021年度予算は、経常収益13,866万円、経常支出13,845万円、年度収支は21万円の黒字を計画しています。収入、支出とも大きく増加した要因は、新しいミャンマー支援事業（N連事業）の規模が大きくなったことによります。

### 2. 支援活動計画（事業計画）

#### 2.1 カンボジア支援（補助金事業）

本事業は2020年10月にN連事業の1年目が終了し、同月から2年目が開始する予定です。1年目に引き続き、同じ5つのアプローチ：1) 保健センター設備支援、2) 保健センタースタッフスキル向上、3) 子どものケア支援ネットワーク構築、4) 家庭での子どものケア知識普及、5) 保健行政区との協働促進に沿って活動を行います。

2021年度の事業は村での活動が中心となります。アプローチ4) 家庭での子どものケア知識普及では、保健ボランティアと母子保健ボランティアが、保健教育を適切に実施できるように、保健ボランティアには「子どものケアと衛生」、母子保健ボランティアには「子どもの栄養」に関する知識強化トレーニングを実施します。

併せて、保健ボランティアと母子保健ボランティアの連携を強化するために、お互いの情報共有の仕組みづくりや、適切なケアや治療が直ちに必要子どもを搬送するためのマニュアルづくりなどに取り組むと共に、保健ボランティア・母子保健ボランティア共同会議も開催します。地域住民を対象とした活動としては、村での保健教育と栄養教育、衛生や小児疾病統合管理（IMCI）のキャンペーンなど地域に根差した地域保健活動を支援します。2年目の完了時には、村人に対してクイズ形式の簡易調査を行い、地域を対象とした保健・栄養教育活動の成果を測定します。

1年目に支援したクポッタゴン保健センターの産後ケア室の増築に引き続き、ピアムゴッスナー、オー

ムルー、アレアッタノーの保健センターにおける産後ケア室の環境整備支援を行います。完成したクボッタゴン保健センターの産後ケア室では、保健行政区スタッフによる保健センター担当スタッフへの出産直後のカウンセリングの指導・監督活動を開始します。また、保健センタースタッフに対する GMP、IMIC、PNC に関する技術向上支援も継続します。

地域の保健行政を統括する保健行政区との連携を強化しながら保健センターや村での活動を実施することで、子どものケアに関する地域医療・保健活動の持続性を高めつつ、事業対象地域以外への波及効果も目指して、活動を遂行します

## 2.2 ミャンマー支援

### (1) ミャンマー農村地域の母子保健サービス改善事業（補助金事業）

本事業はタッコン郡での3年事業の最終年であり、事業完了まで3ヵ月半となりました。引き続き、計画された活動を行うと同時に、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3月24日以降、停止または延期となった活動（スーパーバイザーによる施設モニタリング、母子保健教育や補助助産師リフレッシュ研修など）を、事業終了までに完了させ、プロジェクト目標を達成することを目指します。また、事業終了後は PHJ の支援なしでも地域住民や行政機関が自立して活動を継続できるように、ハンドオーバープロセスも並行して進めます。

### (2) ネピドー特別行政区レウェイ郡における妊産婦と新生児保健改善のための保健システム強化支援事業（補助金事業）

本事業はネピドー特別行政区レウェイ郡での3年事業の1年目です。事業対象地はレウェイ郡全域ですが、保健サービスへのアクセスがより困難な農村地を重点的に支援する計画です。母と子の健康改善を目的とし、地域に根差した保健システムを強化することを通して、保健サービスの提供と利用の促進に取り組みます。

事業活動は、地域住民の知識の向上および健康行動の改善と、保健サービスへのアクセス向上を目指す「コミュニティ・レベルの活動」と、妊産婦と新生児が受ける保健サービスの質の向上と、郡保健局－医療者－コミュニティの連携を強化する「ファシリティ・ベースの活動」で構成され、郡内のそれぞれの地域の特有の保健課題に即して活動を選定して、支援活動を実施します。

「コミュニティ・レベルの活動」では、保健教育の実施、医療施設のプロモーション活動、母子保健推進員の育成と母子保健推進員による妊産婦の家庭訪問、補助助産師のリフレッシュ研修とスキル・モニタリングなどを実施します。「ファシリティ・ベースの活動」では、医療施設への医療機器供与、サブセンターの新規建設または増築、助産師スキル・モニタリング、地域医療者による会議、カウンターパートとのワークショップ等を行います。

上記の活動に加え、円滑なプロジェクト運用のための基盤づくりと、現地政府との連携強化や、新規事業地でのカウンターパートとの信頼関係の構築にも力をいれていきます。

## 2.3 災害支援（自主事業）

東日本大震災支援として「南相馬心療カウンセリング支援事業（2019年1月～2021年12月の3年事業）」を継続します。2020年度の期末に大きな事業の転換点を迎えました。2020年7月に事業のカウンターパートである医療法人「結びの会」と締結した合意書に基づき、残り1年半を後期事業として無料の心療カウンセリングを継続します。

## 2021年度予算(2020年7月1日～2021年6月30日)

(単位 円)

科 目	2019年度	2020年度	2021年度	2021年度
	決算	決算	旧予算	新予算
I. 経常収益				
1. 受取会費	32,390,476	30,305,500	31,300,000	29,400,000
法人賛助会費	27,080,476	25,510,000	26,000,000	24,800,000
個人賛助会費	5,310,000	4,795,500	5,300,000	4,600,000
2. 受取寄付	17,275,886	18,724,920	13,200,000	16,800,000
法人寄付	3,300,000	6,077,500	3,000,000	5,800,000
一般寄付	8,720,984	8,140,054	6,700,000	7,000,000
東日本大震災支援寄付	2,537,244	4,507,366	3,500,000	4,000,000
西日本豪雨水害支援費	2,717,658	0	0	0
2. 公的補助金	38,925,362	49,999,272	47,700,000	92,460,000
3. 雑収益(利子等)	20,626	57,323	0	0
4. 商品寄付	421,582	4,332,520	0	0
経常収益合計	89,033,932	103,419,535	92,200,000	138,660,000
現金	88,612,350	99,087,015	92,200,000	138,660,000
商品	421,582	4,332,520	0	0
II. 経常費用				
1. 事業費	78,498,710	80,637,565	81,690,000	129,450,000
カンボジア支援費	18,491,207	25,216,328	31,500,000	28,810,000
タイ・ベトナム支援費	215,779	118,495	0	0
ミャンマー支援費	39,310,089	37,420,107	30,790,000	81,540,000
東日本大震災支援費	5,958,853	6,128,084	5,500,000	5,600,000
西日本豪雨水害支援費	2,140,000	0	0	0
広報・募金活動費	12,382,782	11,754,551	13,900,000	13,500,000
2. 管理費	6,152,900	8,954,674	6,400,000	9,000,000
3. 商品寄付	421,582	4,332,520	0	0
経常費用合計	85,073,192	93,924,759	88,090,000	138,450,000
現金	84,651,610	89,592,239	88,090,000	138,450,000
商品	421,582	4,332,520	0	0
III. 当期正味財産増減額	3,960,740	9,494,776	4,110,000	210,000
現金	3,960,740	9,494,776	4,110,000	210,000
商品(在庫)	0	0	0	0
IV. 前期繰越正味財産	54,837,032	58,797,772	57,607,772	68,292,548
現金	54,837,032	58,797,772	57,607,772	68,292,548
商品(在庫)	0	0	0	0
V. 次期繰越正味財産	58,797,772	68,292,548	61,717,772	68,502,548
現金	58,797,772	68,292,548	61,717,772	68,502,548
商品(在庫)	0	0	0	0